

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	病児保育事業						担当部	健康福祉部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	子育て支援課							
	事業期間	平成22年度			～		平成30年度以降		担当係	保育係						
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉		12 子育て支援		2 多様な保育サービスを提供する									
		副目的														
	予算区分	款	3		項	3		目	2		大	3		中	6	
	根拠法令・個別計画															
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	1 %		委託	99 %		助成	0 %							
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	病児を一時的に預かる病児保育事業を実施することにより、安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図ることを目的とする。														
	内容 (手段)	<p>児童が病気の回復期に至らない場合であり、かつ、当面症状の急変が認められない場合において、一時的にその児童を預かる病児保育事業を実施する。 市内小児病院に併設する保育施設にて、病気中の生後6ヶ月から小学3年生までの保育に欠ける児童を対象とし、保育を実施するもの。</p> <p>(※委託内容) 病気回復期に至らない場合であり、家庭での保育が困難な児童を一時的に預かる業務を委託する。委託料については、保育対策等促進事業費補助金交付要綱により、契約は1年毎とする。</p> <p>(※国・県支出金の内容) 病児保育対応型については基本分として、1箇所年額2,400,000円。基本分に加え、年間延べ利用児童数により加算分として10人以上50人未満500,000円、50人以上200人未満2,500,000円、200人以上400人未満4,250,000円。</p> <p>【H23直接経費の内訳】 病時保育事業委託料 6,650千円(保育士、看護師給与・光熱水費・医薬仕入高・消耗品費等の経費) ※下記、その他財源の内訳については、延利用者351人×1,900/1日=666,900円</p>														
受益者負担	1日あたり1,900円負担															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	0	6,650	6,650	6,650	
		正職員	従事者数	人	0.00	0.01	0.01	0.01
			人件費	千円	0	53	53	53
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	0	6,703	6,703	6,703	
	対前年比	%		#DIV/0!	100.0	100.0		
財源	一般財源	千円	0	2,062	2,048	2,048		
	国・県支出金	千円	0	4,019	3,988	3,990		
	その他財源	千円	0	622	667	665		

業	活動指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	病児保育開設施設数	所	目標		1	1	1
			実績		1	1	
			目標				
			実績				
			目標				
実績							
績	成果指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	年間延べ利用者数	人	目標		220	220	220
			実績		327	351	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	過去の利用者実績をふまえ、補助基準である200人以上をはるかに超える利用があった。補助基本額については、1箇所年額2,400,000円加算として50人以上200人未満2,500,000円、200人以上400人未満4,250,000円、過去数年の利用状況を加味し、250人程度と見込んでいる。施設の規模からもこの人数を上回ることはない。
		事業実施における課題等	定員や流行性の病気など、状況により申請者全員が受けれるとは限らない。
		事業を縮小・廃止したときの影響	委託先のはやしこどもクリニックでは、平成14年10月1日より1日あたり3,000円にて同様の事業を実施していた。平成22年より市と契約を結び利用者に1,900円の負担にて実施をしているが、この事業を廃止等した場合は、利用者負担が増える(戻る)と思われる。
	今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持
判定理由		市が委託することにより、安定した保育環境が保たれる。また、利用者の利用負担も軽減される。さらに、国、県からの補助もあり、特定財源を活用した有効な取り組みができる。	
改善案等		市内には現在1箇所しかない病児保育施設であるが、今後利用者数の様子を見てさらに開所箇所数を検討していく。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。